

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
1	令和6年能登半島地震の被災地支援、義援金募集【1月】	1月1日、午後4時10分ごろに発生した石川県能登地方を震源とする地震において、菊川市では震度3を観測。市内における被害の報告はありませんでした。緊急消防援助隊を始め水道給水や廃棄物処理など災害支援を実施しました。また、被災地支援のために設置した募金箱には、多くの義援金が寄せられました。小・中学校でも募金を呼び掛けるなど、支援の輪が広がりました。	
2	菊川市交通死亡事故ゼロ連続400日達成【2月】	令和2年12月4日に発生した交通死亡事故を最後に、市内で交通死亡事故が発生していない日数が400日を達成。県交通安全対策協議会より「交通安全優良市町」として表彰されたことから、2月2日、県くらし交通安全課の入野課長から長谷川寛彦市長へ表彰状が手渡されました。記録達成は市民の皆さんが安全運転を心掛けてくださったおかげです！引き続き、交通安全を心掛けて記録を更新しましょう。	
3	長野県小谷村から雪のプレゼント「横地ふれあい雪まつり」【2月】	菊川市と長年交流のある長野県小谷村から横地地区センターに雪のプレゼントが届きました。会場には雪を使ったすべり台や雪遊びができる広場が設置され、子どもたちは、普段見ることのない雪に目を輝かせながら楽しんでいました。また抽選会や、小谷村の特産品「雪中キャベツ」や「ちやのこ」などの販売も行われ、多くの地域住民で賑わいました	
4	株式会社ウェブサクセスに「つなぐ棚田遺産」特別感謝状が贈呈されました【2月】	農林水産省は、棚田地域の維持・保全・振興等に貢献する企業・大学等に「つなぐ棚田遺産」感謝状を贈呈しています。この度、倉沢の千框(せんがまち)の棚田で、ワークショップの企画や実施、パンフレットの作成などに携わっている株式会社ウェブサクセス(静岡市)の取り組みが高く評価され、特別感謝状が贈呈されました。また、長谷川市長からも感謝の気持ちを込めた直筆の色紙を贈らせていただきました。	
5	一般社団法人プレス浜松と協定締結【2月】	市は、バレーボールチームを運営する一般社団法人プレス浜松とスポーツ振興に関する協定を締結しました。今後市民の健康増進への取組や、市内小学校でのバレーボール教室の開催などスポーツを通じた地域活性化に連携して取り組みます。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
6	大谷選手のグローブで野球しようぜ【2月】	2月11日、岳洋中学校グラウンドで市民グループが中心となり開催。メジャーリーガーの大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈したグローブを借り、小学1～3年生の児童13人がキャッチボールや守備練習を行いました。子どもたちは、憧れの大谷選手のグローブをはめて、とても嬉しそうにボールを捕ったり投げたりしていました。今後も小学校低学年児童や就学前の児童を対象に、野球に親しむイベントを開催する予定です。大谷翔平選手、ありがとうございます。	
7	きくがわ応援大使交流会を開催【2月】	2月22日、東京にある移住・交流情報ガーデンで開催。首都圏を中心に活動する「きくがわ応援大使」など、菊川に縁がある皆さんと交流を深めました。長谷川市長から「住みたいまち菊川市」の実現に向けた市の取組を説明。参加者からは、外からの目線で先を見据えたまちづくりへのアイデアをたくさんいただきました。今後も縁や繋がりを大切にまちづくりを進めていきます。	
8	“外”で“楽しむ”SHIZUOKA outside Festival 2024 開催【3月】	3月2日、菊川運動公園で開催。キャンプや登山関連を中心に、スポーツや釣り、車やバイク、ガーデニングなど幅広い分野から、地域企業をはじめとした101の出展者が全国から会場に集まりました。会場では市内外から集まった多くの来場者が、企業の出展・販売や体験アクティビティを通してよく晴れた早春の「外」を楽しんでいました。	
9	小笠高生の考案したメニューが学校給食に【3月】	3月12日、小笠高生が考案した「たれ芽ンチキャツバーガー」が学校給食で提供されました。市の特産品であるメキャベツの消費拡大を目指して考案されたレシピで、市内小中学校12校などにおよそ4,500食が提供されました。これに合わせ、給食センターでメニューを考案した生徒4人や担当教諭を招いた試食会が行われました。	
10	深蒸し茶品評会で市内3団体茶農協組合が上位入賞【3月】	3月14日、全国茶品評会をはじめとした3つの品評会で市内3団体が上位入賞し、市長を表彰訪問しました。受賞したのは、「小沢原茶農協組合」と、「西方茶農協組合」、「赤土原茶農協組合」です。市長は受賞を祝福する言葉と共に、「茶価が安定し、若者が担い手として参加するような茶業を目指し、国外にも視野を向け体制を整えていきます」と茶業への展望を話しました。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
11	産業支援センター「EnGAWA（エンガワ）」オープン【3月】	3月15日、菊川駅前の信用金庫跡地にオープン。セレモニーには市長や関係者らおよそ50人が出席しました。同センターは、事業承継や創業、経営基盤強化などの課題を解決することやビジネスマッチングの促進を目的に市が設置したもの。「人やビジネスの縁を作る」をコンセプトに、事業者の皆さんが抱えるさまざまな経営課題の相談を受ける『相談窓口』と、テレワーカー向けの共有ワークスペースやビジネスマッチングが可能な『コワーキングスペース』を有している先進的な施設です。カフェスペースも併設され、誰でも気軽に立ち寄って利用者と交流ができるようになっています。	
12	コミュニティ・スクールがスタートしました【4月】	菊川市では、中学校区を1つのまとまり「学舎」として、学校運営協議会を設置し、小中一貫型のコミュニティ・スクールがスタートしました。学校運営協議会では、学舎内の保護者や地域住民の代表者および学校の代表者が運営委員となり、責任ある立場として学校運営に参画し、学校・地域・家庭が一体となり「地域総がかり」で目指すこども像に向け、子どもたちを育てていきます。	
13	日本郵便と包括連携協定【4月】	市は、日本郵便株式会社と包括連携協定を締結しました。地域のサービスの向上、活性化に向けて地域と最前線で繋がる同社と連携して取り組みます。早速、郵便車両へ市制20周年を記念するステッカーを貼っていただきました。今後、お互いの発展のため、柔軟な発想により事業を展開していきます。	
14	令和6年度も募集中！「KIFUGAWA PROJECT」【4月】	菊川駅は仮駅舎の利用を開始し、本体工事が始まっています。南北自由通路整備寄附金は今年度も引き続き募集しています。寄附者の皆さまへのお礼として、個人3万円以上、団体・グループ5万円以上、法人10万円以上のご寄附をいただいた場合、駅舎南側外壁の芳名版にお名前を刻印し顕彰します。今年度も秋頃に「ガバメントクラウドファンディング」での寄附を募集します。生まれ変わる菊川駅への応援、温かいご支援をお待ちしています。	
15	市制20周年記念カーステッカーが完成しました【4月】	市制20周年記念カーステッカーを貼付した公用車（市役所・消防署等で使用する車）と郵便車両（市内郵便局で使用する車とバイク）が市内を走っています。ぜひ、探してみてください。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
16	市制20周年オープニングセレモニー&茶畑の中心で愛を叫ぶを開催【4月】	4月27日、菊川中央公園で市制20周年記念オープニングセレモニーを開催。県内唯一の小学生書道パフォーマンス「琳明書道教室」と常葉大学菊川高校ダンス部がステージを披露してくれました。今年度は市制20周年の節目の年。「感謝と共に、未来への一歩」をテーマにさまざまな記念事業が行われます。皆さんと一緒に20周年をお祝いし盛り上げましょう！また、菊川中央公園で「菊川チャバチュー」を開催。今年で3回目となる今回は、市制20周年記念事業のオープニングとして開催。過去最多となる総勢20組90人の参加者が、新茶シーズン真っ只中の広大な茶畑に向けて感謝の気持ちや大好きな思いを大きな声で叫びました。	
17	県内初！幸せを届ける黄色いポスト【5月】	市職員が塗装した市役所本庁舎前の「幸せを届ける黄色いポスト」をお披露目しました。初投函は、10年前に市制10周年を記念し皆さまからお預かりした338通の「10年後へのメッセージ〜2024」。幸せの黄色いポストから夢や希望に溢れたメッセージをお届けします。	
18	中学生がまちづくり3大プロジェクトを行いました【5月】	中学生が地域をより良い場所にしていこうと取り組みとして、市内中学校全生徒で「あいさつ」「環境美化」「防災」の3つのプロジェクトを実施。市内全校での取り組みは初めて。あいさつプロジェクトでは、市内小中学校の児童生徒が自校であいさつ運動を実施したほか、菊西中では代表生徒が街頭で地域の人へ明るいあいさつを届けました。小笠高・常葉菊川高の生徒も小学校などで一緒にあいさつ運動を行いました。	
19	県内初！G I 深蒸し菊川茶品評会【5月】	5月30日、JA遠州夢咲茶業振興センターで、菊川市茶業協会が開催。県内初となるG I 産品の品評会で、菊川茶の品質向上と国が認めた逸品の特質を維持するとともに、「深蒸し茶発祥の地」菊川茶産地の発展を図ることが目的。G I 荒茶加工場として登録された37茶工場のうち、出品された茶葉全30品が審査され、八木製茶（加茂）が初代の最優秀賞を獲得しました。	
20	菊川の新茶が至高のタルトに【6月】	全国に多くのファンを持つタルト専門店「キル フェ ボン」にて、菊川茶を使用した「静岡県菊川産 2024年 深蒸し菊川新茶のタルト」が全国販売中です。G I 認定の深蒸し茶と至高のタルトが会った一品です。今後も「深蒸し菊川茶」を是非、応援ください。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
21	小笠北認定こども園新築工事 安全祈願祭【6月】	6月14日、小笠北認定こども園新築工事の安全祈願祭が行われました。来年4月の開園に向けて、本格的に工事が始まります。安全祈願祭には、長谷川市長をはじめ、工事関係者や地元自治会、市議会議員の皆さんが出席しました。こどもたちの「夢」であふれる園舎になるように取り組んでいきます。	
22	大塚製薬株式会社と包括連携協定【6月】	6月18日、市は大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結しました。市民の健康づくりの推進や市民サービスの向上を図ることを目的としたもの。今後、市民の更なる健康増進に向け、連携して取り組んでいきます。	
23	全国大会、東海大会出場選手が市長や教育長を表敬訪問【通年】	菊川ボーイズ「エイジェックカップ第55回日本少年野球選手権大会」に出場、黒田洋誠選手「とびうお杯 第39回全国少年少女水泳競技大会」に出場、小笠北ビクトリースポーツ少年団「第17回GasOneカップ学童軟式野球選手権大会」への出場、山内秀飛選手「全日本中学校陸上競技選手権大会」男子200mに出場、岡本明紗選手「東海中学校総合体育大会」陸上競技女子の部2年100mに出場、菊川西中学校吹奏楽部「第67回中部日本吹奏楽コンクール本大会」に出場。	
24	JR臨時快速「20th夢乗せる菊川」号【6月】	JR東海が菊川市制20周年の記念と深蒸し菊川茶GI登録1周年に合わせて運行。3両編成の車内では、菊川市20年の歩みの写真展示や車内アナウンスによる菊川市の魅力紹介、市をPRする記念品の配布などが行われました。また、菊川茶娘による深蒸し菊川茶ペットボトルやオリジナルグッズの配布など、菊川一色のおもてなしで特別な鉄道の旅を演出。県東部地域などのおよそ150人の乗客は、JR三島駅からJR菊川駅までの旅を楽しみました。	
25	ZEB化推進等に向けた連携協定【6月】	6月28日、市は市内に営業所を持つ#佐野ホールディングス株式会社 と#大和ハウス工業株式会社浜松支店 との3者で連携協定を締結しました。市は2050年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言。連携協定により、環境に配慮した佐野ホールディングスの新営業所の完成後、内覧会や勉強会を開催し、地域の人にZEBを身近に感じていただく機会を提供していきます。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
26	宝くじふるさとワクワク劇場in菊川【6月】	文化会館アエルで開催。第1部では菊川市出身の渡辺翔太さんの所属するお笑いコンビくらげをはじめ、吉本興業所属のお笑い芸人5組による漫才やコントが披露され、会場からは大きな笑い声が上がりました。第2部では、オーディションに合格した市民12人が吉本新喜劇のメンバーと共演しコメディ劇を披露。会場からはあたたかな笑い声が沸き起こりました。	
27	菊川市制20周年記念ご当地標識(原付ナンバープレート)【7月】	7月1日、市役所で菊川市制20周年記念ご当地標識(原付ナンバープレート)の抽選会が開催されました。ご当地標識は「きくのん」と畑をイメージしたデザイン。各車種1~20番までのナンバープレートは、交付希望者を事前に募り、交付開始日の本日に抽選会を実施。見事に1番を引いた希望者は「どうしても1番が欲しかったので、とてもうれしいです」などと嬉しそうに話しました。	
28	金メダリスト岩崎恭子さんが児童に水泳指導【7月】	7月1日、河城小学校に、バルセロナオリンピック競泳金メダリストの岩崎恭子さんが来校し、6年生児童に水泳の指導をしました。前半では、岩崎さんが児童からの様々な質問に親身に答え、後半では実際にプールへ入水し実技指導を実施。児童は、本物の金メダリストの前に興奮した様子でした。	
29	菊川中央工業団地協同組合が市長表敬訪問【7月】	7月1日、「産業振興知事褒賞(優良組合)」を受賞した菊川中央工業団地協同組合が、受賞報告のため長谷川市長を表敬訪問しました。同組合は、令和5年に創立40周年を迎え、団地組合における企業集積のメリットを活かした取り組みが評価されました。今後も更なる連携により、地域社会や産業界の発展に貢献していただけることを期待しています。	
30	ウォールペイント公開セレモニー【7月】	7月5日、「きくがわジュニアアート教室」で制作したウォールペイントが、JR菊川駅前広場に展示されました。ウォールペイントは、5月に常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科の生徒59人と小中学生44人が参加して制作したものです。菊川駅南北自由通路が完成する令和8年3月まで飾られていますので、ぜひご覧ください。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
31	農業DXの推進に向けた連携協定【7月】	7月9日、市は株式会社エムスクエア・ラボと「農業DXによる持続可能なきくがわのまちづくりに関する連携協定」を締結しました。同社が持つ先端技術やノウハウ、各地とのネットワークを活かし、新たな技術の導入や地域農業の発展による「持続可能な地域農業」の確立を目指します。協定締結後、地域の農業関係者が参加しスマート農業の実証体験を開催。同社が開発を進めているロボット台車を操作するなど、農作業の自動化に向けた体験を行いました。	
32	潮海寺祇園祭り【7月】	7月20日、3年に1度の夏の風物詩「潮海寺祇園祭り」が6年ぶりに開催されました。屋台が仁王門前の40度のもの傾斜をもつ石段を下る「御神坂下り」では、多くの人とその光景を固唾をのんで見守っていました。	
33	ポケモン「シャワーズ」が登場！生活環境フェスタ【7月】	7月27日、文化会館アエルで20周年記念事業として開催。今年は、「水の日」の応援大使である「シャワーズ」が登場し、子どもたちと打ち水や記念撮影をしてイベントを盛り上げました。多くの家族連れが訪れ、上下水道のしくみや身近な生活環境に関する展示や体験コーナーで、水環境保全の大切さを楽しみながら学びました。	
34	市制20周年 夜店市【8月】	8月10日、菊川の夏の風物詩「夜店市」が5年ぶりにJR菊川駅前本通り商店街で開催され、大変多くの来場者で賑わいました。会場にはかき氷や射的、金魚すくいといった夏の定番屋台のほか、近隣各地の名産品などのおいしいグルメの屋台などおよそ90軒が立ち並びました。また、ステージでは、華麗なパフォーマンスが披露され、観客から大きな拍手が送られました。フィナーレには花火が打ち上げられ、菊川の夜空を盛大に彩りました。	
35	市内初！「田んぼダム」の取り組み【8月】	8月20日、水害対策の一環として川西地区で市内初となる「田んぼダム」の取り組みがスタート。この取り組みを農家や地元自治会、地域共同活動組織の皆さんに広く知ってもらうため、体験会が開催されました。参加者は、県職員からの説明を聞いた後、ほ場に移動し、調整板を使って放流する水量を調節する体験を行いました。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
36	全盲の知人男性を救助した安藤恵里さんの勇敢な行動に対し、感謝状が贈呈【8月】	6月に市内で発生した建物火災において、全盲の知人男性を救助した安藤恵里さんの勇敢な行動に対し、感謝状が贈呈されました。八木消防長は、「安藤さんの行動は、多くの市民に感動を与え、模範となるものでした。何より2人が無事であったことが最良の結果です」と感謝の言葉を述べました。	
37	第1回菊川MIZBEフェス【9月】	9月7日、下内田河川防災ステーションで開催。子どもたちが楽しく防災について考えられる防災ワークショップが行われたほか、川沿いの河川敷などで楽しめるスポーツイベントや、みんなで「菊川」の利活用を考える「ミズベリング菊川」のPRブースが設置。訪れた人は、良く晴れた空の下、スポーツを体験したり、防災や“かわまちづくり”について学んだり楽しんでいます。	
38	田んぼアートin菊川2024収穫祭【9月】	9月8日、下内田の稲荷部地区で開催。市内外からおよそ200人が参加し、紫式部を描いていた黄金色の稲穂を、鎌を使って丁寧に刈り取っていきました。今年は、17回目にして鑑賞会期間に過去最高の8,550人にご来場頂いた田んぼアート。来年はどんな絵になるのか今から楽しみです。	
39	小説家いぬじゅん氏が来訪【9月】	幸せの黄色いポスト を題材に菊川市を舞台にした新作小説を執筆中の小説家 いぬじゅん氏が菊川市を訪れました。作品のイメージを膨らませるため、ブラザキくるや塩の道公園、赤レンガ倉庫などを見学。あの場所が小説に登場するかも？ぜひ楽しみに。	
40	市制20周年記念事業 きくがわおんぱく10周年「きくがわおんぱく2024～音とみどりの博覧会～」が始まります【9月】	9月13日から11月24日までの73日間に40のプログラムが開催され、今年も地域の魅力を再発見、菊川の魅力を伝える小規模体験交流プログラムが集まりました。親子体験、癒し・体と心の健康体験、食の体験、歴史・文化体験、趣味・ものづくり体験等、ご興味のある体験プログラムにぜひご参加ください。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
41	第3回菊川バル【9月】	9月15日、菊川駅前や菊川インター周辺の飲食店25店舗で特別メニューを楽しむ「菊川バル」が開催されました。赤レンガ倉庫前で行われた出発式では、長谷川市長自らがバンド演奏で会場を盛り上げました。市内の各店舗では、自慢の逸品を楽しむ人たちの姿が見られました。	
42	手話言語に関する条例のつどい&ブルーライトアップ【9月】	9月23日の「#手話言語国際デー」に合わせてプラザけやきで開催。屋内では「ミニ手話教室」「手話しりとり」「手話かるた」などの体験が行われ、参加者は楽しみながら手話に親しんでいました。辺りが暗くなると、プラザけやき正面玄関が竹灯籠の灯りと共に青色の光でライトアップ。「いつでも、どこでも、だれとでも、手話でつながる菊川市」を目指して普及啓発に取り組みます。	
43	市内各地で秋の祭典が開催されました【10月】	子どもから大人までが一緒になり五穀豊穡・無病息災を祈願する秋の祭典が、今年も10月に各地区で開催されました（小笠地域：12、13日 菊川地域：19日、20日 牧之原地域：26、27日）。市内のあちこちで、華やかな屋台が引き回され、お囃子と威勢のいい掛け声が響き渡りました。	
44	市制20周年記念「NHKのど自慢」【10月】	10月27日、「NHK のど自慢」が文化会館アエルで開催されました。ゲストには、美川憲一さんと菊池桃子さんを迎え、およそ200組が参加した前日の予選を勝ち抜いた20組の本選出場者が、生放送で歌やパフォーマンスを披露しました。出場者たちは、生放送で歌う緊張感の中で、会場内だけでなく、全国に届くようにと自慢の歌声を響かせました。また、出場者の歌を評価する、のど自慢恒例の鐘の音が響き渡ると会場を埋め尽くした観客から出場者に大きな拍手が送られました。	
45	きくがわ灯りの散歩道ONハロウィーン【10月】	きくる広場、赤レンガ倉庫付近で開催。1000人以上が来場し、一足早いハロウィーンの夜を楽しみました。会場には、市民活動団体たねあかりが作成した、およそ500本の大小さまざまな竹灯籠が飾られ、訪れた人たちが幻想的な空間を散策したり写真を撮ったりして楽しんでいました。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
46	Trick or Trash Kikugawa 2024 【10月】	10月30日、市役所本庁舎周辺で、仮装をした市職員の有志30人がごみ拾いを行いました。ハロウィーンイベントとごみ拾いを組み合わせることで、楽しくごみ拾いを行いまちの環境美化につなげることを目的に今年で3年目の開催。仮装をした職員は、通勤・通学中の人に挨拶をしながら、タバコの吸い殻や空き缶などおよそ1.5kgのごみを拾いました。	
47	令和6年度菊川市表彰式 【11月】	様々な分野で長年にわたり活躍し、菊川市の公益に寄与し、市行政の進展に特に功績があった人や団体の功績をたたえる市の最高表彰です。今年は、個人7人と2団体の功績をたたえ表彰しました。式典では、長谷川市長から受賞者に表彰状が手渡され「これまでのまちづくりへの多大なるご貢献に、市民を代表し、深く敬意と感謝の意を表します」とお祝いの言葉が送られました。菊川市の発展のためにご尽力くださり、ありがとうございます。これからも益々のご活躍をご期待申し上げます。	
48	市内各地区で地区センター祭りを開催 【11月】	11月2日から24日にかけて、市内の10地区で「地区センターまつり」が開催されました。地域で活動している人たちの作品展示や、ステージ発表のほか、模擬店や体験コーナーなども設置され、住民同士の交流を深めました。	
49	ザ・ロイヤルエクスプレス歓迎イベント 【11月】	11月～12月に静岡県内で運行する東急の豪華観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」がJR菊川駅に停車しました。地域の子どもたちがきくのんや茶娘と一緒に列車を出迎え、横断幕や旗を振って乗客の皆さんの来訪を歓迎しました。このイベントは12月14日まで毎週土曜日(全6回)に開催されます。	
50	市制20周年お祝い給食 【11月】	11月8日、市制20周年をお祝いする特別な学校給食が市内小中学校や幼稚園、認定こども園などで提供されました。学校給食への地産地消を推進する事業の1つとして、菊川産の農産物をふんだんに使用した特別メニューです。この日、長谷川市長と松本教育長が小笠南小を訪問し、小学6年生と1年生の教室で児童と一緒においしい給食を楽しみました。	

令和6年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
51	10代目菊川茶娘・初代茶公土任命式【11月】	11月10日、およそ1カ月間公募し、面接で選ばれた5人の「10代目菊川茶娘」と今回新たに誕生した1人の「菊川茶公土」が産業祭のステージ内でお披露目されました。市茶業協会会長の市長からタスキを受け取った6人は、早速産業祭の出店ブースで、訪れた人にお茶の販売や、呈茶サービスをしながら深蒸し菊川茶のPRをしていました。任期は2年間です。応援よろしくお願いします。	
52	菊川産業祭2024【11月】	11月10日、文化会館アエルで市制20周年記念「菊川産業祭2024」が開催。109の企業や団体による出店とおよそ15組のステージが会場を盛り上げました。その他、市と交流のある県外市町村からの出展や、市制20周年を記念した餅まき、スペシャルゲストの登場など、今年も盛りだくさんのイベントに！会場には市内外からおよそ2万8,000人が訪れ、たくさんの笑顔で溢れていました。	
53	菊川市市章入り新幹線が走行中！【11月】	菊川市の「市章」入り新幹線が走行しています。この企画は、JR東海が東海道新幹線開業60周年を迎えたことから沿線の84自治体の魅力を広めるために実施しているもの。新幹線の1号車と16号車の先頭側、8号車の引き戸の側面に「章」が入っており、車内のデッキでは市の紹介がされています。新幹線を利用してお出かけの際は、どの沿線自治体の「章」が貼られているか、ぜひご覧ください。	
54	チーム史上初入賞！しずおか市町対抗駅伝【11月】	11月30日、第25回しずおか市町対抗駅伝競走大会が開催されました。県内35市町から37チームが参加。菊川市チームは、市の部9位(2時間19分26秒)と昨年より順位を2つ上げ、過去最高の順位、チーム史上初入賞。2年連続最高順位を更新し続け、さらに成長した最高の走りを見せてくれました。大会後の解団式では、団長である長谷川市長や北原監督から選手に向け労いの言葉が贈られ、選手からも感謝の気持ちが伝えられました♪郷土の誇りを胸に駿河路を駆け抜けた選手の皆さん、感動をありがとうございました。	
55	3年連続！パニガーレMTG【12月】	12月1日、文化会館アエル駐車場で開催。イタリアのバイクメーカー「ドゥカティ社」のスポーツバイク「パニガーレ」の愛好家が全国から自慢の愛車に乗って集まりました。パニガーレおよそ300台のほか、およそ550台のバイクが会場に集まりました。参加者はお互いの愛車を見せ合い、こだわりのポイントなど熱い思いを語り合いながら交流を深めました。	